

アクセスみなみ

おかげさまで創刊100号！

みなみラウンジは創立10周年、情報誌「アクセスみなみ」は創刊100号を迎えました。
これからも地域の皆さんが元気になる活動や情報をお届けいたします！

みなみラウンジの前身施設が「アクセスみなみ」第1号を発行したのは1996年。その一面には、「何かを思い立ったとき、つまづいたとき・・・きっかけを見つけに来てください。」とありました。私たちはこの精神に立ち返って、地域の人々と共に生きがいのある暮らしを考えていきます！



みなみラウンジ10周年・アクセスみなみ100号記念
みんなで選ぼう！みなみラウンジのロゴマーク
詳しくは4ページをご覧ください。

「まるごとみなみ」の施設紹介動画が出来上がりました！

※「まるごとみなみ」は南区施設間連携事業の愛称です



永田地区センターとみなみラウンジのモニターで放映中！



南区には地区センター、スポーツ施設、地域ケアプラザ、地域活動ホーム、コミュニティハウスなど地域に根差した公共施設がたくさんあります。

いろいろな施設を知っていただけるよう、その特色を紹介するダイジェスト動画を作成しました。ご覧になり、ぜひ施設に足を運んでみてください！



利用人数制限、換気、消毒を徹底し、開館しています。
来館の際には、マスクの着用・手指の消毒・体温測定などへのご協力をお願いいたします。



特集：アクセスみなみ【創刊号】から【100号】までの変遷

区役所内の生涯学習センターの情報紙時代 (1996.8～2005.4)

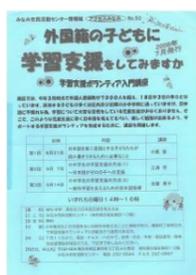
- <主な出来事>
 平成9(1997)年 消費税5%導入
 平成10(1998)年 冬季五輪長野大会開催
 平成13(2001)年 アメリカ同時多発テロ
 平成14(2002)年 サッカーW杯日韓共同
 平成15(2003)年 イラク戦争勃発
 平成16(2004)年 スマトラ沖大地震

「アクセスみなみ」という紙名は、生涯学習センターの名称でもありました。当初は年2～4回の不定期発行。2000年に入ると年4回発行が定着。印刷は2色刷り。1993年より開始の、街の先生登録制度の紹介や区内で活躍する団体の紹介、特集では、「本に見る南区」(南図書館協力)、「南区の文化財」「南区の祭り」等、今見ても楽しめる内容の記事が多くありました。新しい区民利用施設が立て続けに開設されていた時代ですので、施設紹介にも力を入れていました。



2004年 南区マスコットキャラクター「みなっち」誕生 ・ 2005年5月 みなみ市民活動センター開設

- <主な出来事>
 平成17年(2005) 建造物耐震強度偽装事件発覚
 平成18年(2006) WBC(野球)開催、日本初代世界一に
 平成20年(2008) ミラーマン・プラザ経営破綻
 平成21年(2009) 民主党に政権交代



みなみ市民活動センター時代 (2005.5～2010.9)

2005年8月に「みなみ市民活動センター」となり、区役所(当時は花之木町)から現在の浦舟町へ移転オープンしました。市民活動センターではありませんが、外国人の多い地域の特徴を生かし、日本語ボランティア養成講座や外国人支援ボランティアの派遣、国際理解講座の開講など、特徴ある活動を展開していた様子が情報紙の記事からうかがえます。印刷はラウンジにて行い、1色刷り、年4～6回発行

2010年10月 国際交流ラウンジの機能を強化した「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ」としてリニューアルオープン

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ時代① (2010.10～2015.3)



ラウンジになっても、情報紙の紙名は継続して「アクセスみなみ」を使用。市民活動だけでなく、多文化共生に関する記事も載っています。

- <主な出来事>
 平成23年(2011) 東日本大震災発生
 平成24年(2012) 東京スカイツリー完成
 平成25年(2013) 富士山、世界文化遺産に登録
 平成26年(2014) 消費税8%導入

当時の担当者の声

<センターからラウンジへ 情報紙を担当して>
 記憶に残るのは、2010年No.57、センター開設5周年記念号で、それまでの振り返りとセンターへの飛躍を謳(うた)い、2011年No.60で多文化への新しい一歩を踏み出すという形で「アクセスみなみ」の名称を残したまま、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジの情報紙に移行したことです。どう施設が想像しにくい面があったので、心がけていたのは、一つの分野にかたよることなく、なるべく多くの内容を届けたいということ。大変だったのは、その頃から地域連携が進み、各施設での行事が増え「街の先生」などの取材に出ることが多くなり、編集に時間がかかるようになったことです。レイアウト、印刷から発送まで作業が終ると本当にホッとできました。それも今となっては楽しい? 思っています。

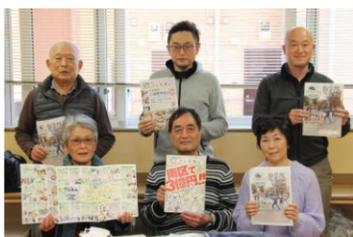
シリーズ：タウンニュースの記者が“見た・聞いた・感じた”

このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回る中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して14年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。



門馬編集長 (撮影：若尾久志)

目に留まる広報紙



広報紙を手にする編集委員

この情報紙も今回で記念すべき100号。長く続けられたのはラウンジのスタッフの皆さん、活動団体の皆さんの力によるものだと思います。私は仕事柄、施設や団体のが発行する情報紙・広報紙をよく目にします。その中でも「これは！」と感じるものに会うことがあります。中村地区社会福祉協議会(地区社協)が年1回発行し、地区内に全戸配布する「みどり」とはほかの地区社協広報紙とは一線を画すものです。2019年3月発行の紙面は表紙に大きな赤字で「南区で3億円!!」と。これは前年に南警察署管内で発生した振り込め詐欺の被害額を記したもので、詐欺対策がまとめられています。20年発行の紙面は災害対策を特集し、表紙には避難勧告発令区域などを確認するための区役所の連絡先が大きく書かれています。

ほかの地区社協広報紙が1年間の活動報告がメインになっているのに対し、中村地区社協は「今求められている情報を掲載する」という方針です。3月に発行する紙面の編集会議にお邪魔しました。メンバーは6人。それぞれがアイデアを出し合って決めた今回の紙面はコロナ禍の健康づくりと防災チェックシートが主な内容。斬新に見えるデザインについて、編集委員の一人は「まずは目にしてもらわない」と言います。「必要な情報をどのように届けるか」を日々悩む私にとっても、学ぶことが多い広報紙です。4月以降、ラウンジの下の方にある区社会福祉協議会や中村地域ケアプラザにも配架される予定です。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ時代② (2015.4～2016.3)



年4回発行。2色カラー印刷。印刷所にデザインを依頼しました。毎号、デザインカラーが変わり、季節にあわせた雰囲気になっていました。街の先生/登録団体、紹介記事の連載が始まりました。2015年12月からタウンニュース記者の連載記事が始まり、南区内のトピックスがラウンジの情報紙からも発信されるようになりました。

当時の担当者の声

<タウンニュース南区担当記者「門馬さん」について>:
 週末の南区内のイベント。そこには一眼レフを携えた門馬さんが必ず現れます。南区のあらゆる情報は門馬さんに聞こう、いつからかそうなっていました。一眼クールに見える門馬さんですが、学生時代は友人と漫才をやっていたそうです。タウンニュースができるたびに、ラウンジまで届けてくれる律儀さ。社内の異動が心配ではありますが、門馬さん、これからもよろしくお祈りします!

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ時代③ (2016.4～2019.3)

- <主な出来事>
 平成28年(2016) 熊本地震発生
 平成29年(2017) 米トランプ政権発足
 平成30年(2018) 箱根駅伝、青山学院大4連覇
 平成31年(2019) 「令和」に改元

毎号中面見開きでの特集が始まりました。紙面構成から印刷までラウンジで行い、印刷は1色刷りで、色紙への印刷でした。タウンニュース記者連載記事は継続中。

当時の担当者の声

<特集>を担当して：特集にどんな題材を取り上げるか、誰にフォーカスしてインタビューや取材をするのか、など悩むことが多くありました。活動への思いや頑張っていることが伝わるように心がけて記事作成をしました。ラウンジのイベント紹介から頑張る人の紹介など、「行ってみよう」「やってみよう」と思えるような記事作りを目指しました。(現在も継続して担当中)



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ時代④ (2019.4～現在)

ラウンジ10周年と100号記念でオリジナルロゴマーク作成!



当時の担当者の声

<カラー印刷にしてみよう>:
 2018年からみなみラウンジのスタッフになり、アクセスみなみの担当の一人として1年間、紙面づくりに携わりました。皆さんの活動を紹介する写真がたくさんある紙面。カラーのほうが訴求力があるなと思い、カラー化を提案しました。小さい写真でも鮮明になり、カラー紙面にしてよかったなと思っています。

中面見開きの特集記事は継続。南区内の施設紹介・タウンニュースの記者による記事・登録団体紹介などの連載記事があります。カラー紙面となり、写真の掲載量がアップしました。

<南区施設紹介> 横浜市永田地区センター (南区永田台45-1)

電話：045-714-9751 FAX：045-714-9752

HP:<http://nagata-cc.com> ※永田地区センターツイッター (Twitter) でも情報発信しています。



<施設概要>

横浜市永田地区センターは、永田台の住宅地の中にあり、京急井土ヶ谷駅や弘明寺駅から徒歩20分程の立地です。それゆえに地域の皆さんの「拠点」として親しまれており、文化、芸術、スポーツなど、140余りの登録団体の活動が活発に行われています。「来て良かったね」「また来たいね」をモットーに、地域の方に喜んでいただける施設をめざしています。

<施設の取り組み>

七夕飾り、ハロウィン、夏休み講座など子ども向けの企画から、ヨガやネイルなどの美容講座、布ぞうりやシルバーアクセサリーなどの手芸講座、お菓子や味噌作りなどの料理講座、読書会と、様々な自主事業を展開しています。恒例行事の「地区センターまつり」では地域の「永田村助郷(すけごう)伝承保存会」と協力し、ブースに関連資料を展示するなど永田地区の郷土史の伝承に努めています。また、「もちつき大会」も地元自治会の皆さんにご協力頂き、親しまれています。(今年度は中止)今年4月中旬には、当館の登録団体の作品をセンターのホームページで公開する「オンライン作品展」を予定しています。



夏休み子ども宝石づくり



本格味噌づくり

館内にはロビーや娯楽コーナーもあり、図書コーナーには児童書から話題の新刊書まで、1万冊以上の蔵書を揃えています。どうぞお気軽に足を運んでみてください。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら運営を行っています。皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

横浜市永田地区センター利用案内

【利用時間】月曜日から土曜日9:00～21:00/日曜日・祝日9:00～17:00

【休館日】年末年始(12月28日～1月4日)/施設点検日(毎月第3月曜日、但し月曜が祝日の場合は翌日)

みんなで選ぼう！みなみラウンジのロゴマーク

決定したロゴは次号のアクセスみなみ101号（6月20日発行）で発表します！

みなみラウンジのシンボルとして親しまれるロゴマークを一つ選んでください。応募された方の中から抽選で30名様に、決定したロゴが入ったエコバッグ（底広型）を差し上げます。

※決定したロゴを選んだかどうかには関係なく、応募者全員の中から抽選させていただきます。発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

下記、(1)～(5)の必要事項を明記し、ハガキ、メール、HP、直接来館のいずれかの方法でご応募ください。
(1)選んだロゴの番号一つ (2)お名前 (3)連絡先電話番号 (4)ご住所 (5)アクセスみなみについてのご意見（自由記述）

応募締切：2021年5月20日（木）

【ハガキ】〒232-0024

横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10階
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
ロゴマーク係

【メール】 minami-kouza@yoke.or.jp

【みなみラウンジHP】

<https://tabunka.minamilounge.com/>

【来館】投票用紙に記入し、ご応募ください。

①



みはみラウンジ

「みなみ」のMをモチーフに虹の架け橋を表現

②



みなみラウンジ

多様な国の人々が集う場から国旗をモチーフに空間を表現

③



みなみラウンジ

市民活動が活発に行われる心弾む様子を表現。「心」がモチーフ

街の先生 体験クラスのご案内

街の先生の森千代子さん（遊花の会）が、押し花でボールペンやミニ額を作る体験講座を開催します。自分だけのオリジナル押し花で素敵な作品にトライしてみませんか？ご参加お待ちしております。



ボールペン、バックチャーム、鶴のミニ額のいずれかを作ります。

日時：①3月23日（火）13時～15時

②4月13日（火）13時～15時

場所：浦舟コミュニティハウス

参加費：①②とも700円

持ち物：小さめのはさみ

参加人数：6名

申込・問合せ：【TEL/FAX】045（712）3812

～INFORMATION～

<市民登録団体の更新について>

市民活動団体の皆様には2年毎の団体登録更新をお願いしております。該当団体には、郵送で書類をお送りしましたので、返送または直接ラウンジまでお持ち込み下さい。

なお、更新時には活動状況の確認のため、ヒアリングをお願いしています。対面、電話、オンラインシステムをお選びいただけます。ご協力よろしくお願いいたします。

新スタッフ紹介

陳 丹艶（ちん たんいえん）



新スタッフの陳丹艶と申します。中学校の頃、来日しました。高校生の時から、自分の経験を生かし、来日した中学生の学習サポートしております。

将来、外国人と日本社会の架け橋になるように努力しています。どうぞよろしくお願いいたします。

徐 毅強（しゅー いーちゃん）



新スタッフの徐毅強と申します。中学校から日本に来て、日本に10年間住んでいます。

今までの経験を活かし、外国人の支援と相談に努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、誰もが心豊かでいきいきと生活できる元気な地域を実現するために自主的な活動を応援します。市民活動・生涯学習の相談・情報の提供、機材の貸出、ミーティングスペース等の利用ができます。

活動のPR・仲間募集をしませんか？

利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベントなどのPR、メンバー募集などをすることができます。ご希望の際には、いつでもご連絡下さい。

次回原稿〆切：5月30日（6月発行）

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

〒232-0024

横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設10階

045-232-9544（日本語）

045-242-0888（外国語）

当施設は南区から委託を受け、

YOKE（横浜市国際交流協会）が運営をしています。

